

令和2年産

# 大崎稲作情報 第2号

令和2年6月3日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## 今後の管理のポイント

- ✓ 分けつの発生を促進させる適切な水管理を行いましょ
- ✓ 使用時期を見ながら、適期に雑草防除を行いましょ
- ✓ 補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょ

## 1. 気象経過

- 4月の気温は平年より低く、日照時間は平年より短くなりました。4月4半旬にまとまった降雨がありました。
- 5月の気温は1～3半旬に平年並～平年より高く、その後4～5半旬に平年より低くなりました。日照時間は4～5半旬に平年より短くなり、6半旬は多照となりました。4半旬に降雨がありました。

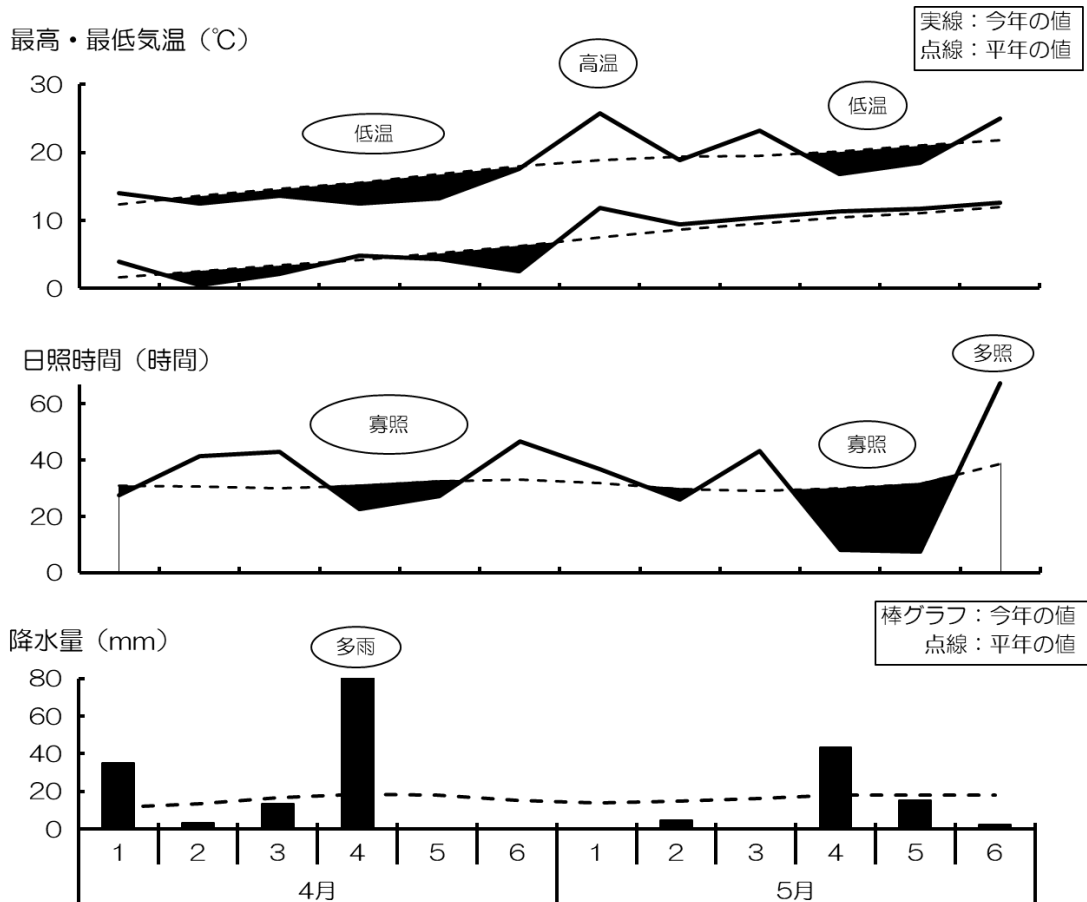


表1 4・5月の気象 (古川アメダス)

## 2. 播種・田植え状況

- 管内の播種盛期は平年より1日早く、終期は平年より2日遅くなりました。育苗期間中は最高気温が低い期間がありましたが、概ね良好に経過し、病気の発生は比較的少ない傾向となりました。
- 田植時期は管内全体として平年よりやや遅れました。田植え後の苗の活着は、好天により良好でしたが、高温となったことで一部ほ場において表層はく離が発生しました。

表2 管内の播種・田植状況

	播種			田植		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
管内全体	3月30日 平年並	4月8日 1日早い	4月22日 2日遅い	5月2日 平年並	5月11日 2日遅い	5月22日 2日遅い
県全体	4月3日 1日遅い	4月12日 1日遅い	4月20日 1日早い	5月4日 平年並	5月11日 平年並	5月23日 2日遅い

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行時期とし、平年差は前5か年（平成27年～令和元年）との比較

## 3. 生育概況（6月1日現在）

- 5月4～5半旬に気温と日照時間が平年を下回ったことで生育が停滞し、草丈と茎数が平年を下回りました。5月1～2半旬に田植えしたほ場では一部で6葉が展開しておりましたが、葉数は平年並～やや少なくなりました。

表3 生育調査結果

品種名	地区名	田植月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平年比)	葉数(枚) (平年差)
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月4日	24.1 (96%)	82.1 (65%)	5.3 (-0.5)
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日	19.3 (78%)	82.2 (97%)	4.5 (-0.3)
ササニシキ	大崎市古川	5月11日	22.4 (88%)	92.4 (75%)	5.6 (+0.2)
つや姫	色麻町四竈	5月4日	23.6 (-)	91.3 (-)	5.1 (-)
だて正夢	大崎市三本木	5月3日	30.1 (-)	87.0 (-)	6.1 (-)
金のいぶき	大崎市三本木	5月7日	26.2 (-)	91.9 (-)	6.2 (-)
まなむすめ	加美町宮崎	5月18日	23.9 (94%)	133.9 (108%)	5.2 (+0.1)
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月24日	11.6 (-)	68.4 (-)	3.1 (-)
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月18日	19.4 (82%)	124.3 (102%)	3.8 (-1.1)
県全体			21.3 87%	89.0 77%	4.9 -0.6

※平年比・差は前5か年（平成27年～令和元年）の平均値との比較  
県全体はひとめぼれ、ササニシキの生育調査ほ31地点の平均値

## 4. 今後の管理

### 1) 水管理 活着期～分けつ期は2～3cmの浅水管理

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、徹底した水管理を行いましょう。

- ✓ 2～3cmの浅水管理にすることで水温を上昇させ、分けつを促しましょう。  
※ 低温が予想される時は5～6cm程度の深水とします。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょう。中干しは目標茎数に達したら、早めに行いましょう。  
※ 目標茎数の目安  
ひとめぼれ 410本～460本/m<sup>2</sup>  
ササニシキ 480本～510本/m<sup>2</sup>  
だて正夢 350本～400本/m<sup>2</sup>

#### ～ 令和元年東日本台風により稲わらをすき込んだ方 ～

昨年発生した令和元年東日本台風により、稲わらを大量にすき込んだほ場は一時的に落水し、土壌の酸素供給とガス抜きを行いましょう。

稲わらなどの有機物を多量にすき込んだほ場は、水温と地温の上昇に伴い有機物の分解が盛んになり、酸素が不足して還元状態となります。その結果、硫化水素等のガスが発生し、根腐れ等の生育不良の原因となります。

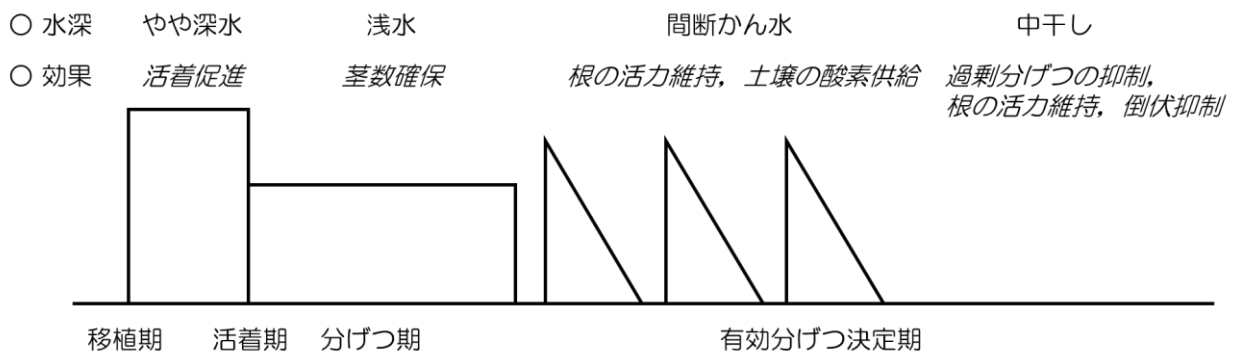


図1 今後の水管理体系

## 2) 雑草防除 散布適期を見極め除草剤散布

雑草は稲の養分を奪うだけでなく、カメムシ類等の害虫を呼び寄せる原因となります。

繁殖力が高い雑草種もあるため、適切な雑草防除に努めましょう。

- ✓ 初中期一発剤を散布したほ場で残草が見られる場合は、中期剤・後期剤を散布しましょう。※散布時は雑草の種類・葉齢，稲の葉齢を確認しましょう
- ✓ 使用方法が「湛水散布」の除草剤は，田面が露出した状態だと除草剤効果の低下につながります。除草剤の散布時は畦畔からの漏水がないかを確認し，十分な水を張りましょう。
- ✓ 水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草は，カメムシ類を水田に呼び寄せ，斑点米被害の原因となりますので，雑草防除を徹底しましょう。



図2 イヌホタルイとカメムシ発生について

### ～ ノビエ以外の雑草防除を行う際の注意点～

水田除草剤のラベルは「移植後5日～ノビエ 2.5 葉期」のように使用時期が記載されており，ノビエ以外の雑草種への使用時期は「使用上の注意事項」に記載されている場合があります。ノビエ以外の雑草が見られる場合は「使用上の注意事項」を読み，散布晩限に達する前に散布しましょう。

### 3) いもち病防除 補植用稲は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

#### 東北地方 1 か月予報

(5月30日から6月29日までの天候見通し)

令和2年5月28日

仙台管区气象台 発表※抜粋

#### <特に注意を要する事項>

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

#### <予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は高い確率80%です。2週目は平年並の確率50%です。3～4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

#### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北太平洋側	30	40	30
【日照時間】	東北太平洋側	30	40	30

#### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	20	50	30
3～4週目	東北地方	20	40	40

#### ◆◆◆◆◆ 春の農作業安全確認運動実施中(4月1日～6月30日) ◆◆◆◆◆

農作業中の事故は農業機械によるものが多く、機械の転倒や転落が要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際は油断せずに、後方確認を行い足元にも注意しましょう。

重点推進テーマ 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

#### ◆◆◆◆◆ 農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日) ◆◆◆◆◆

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※ 最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>>